



季刊誌「楽」55号より

長崎はバスの運転がうまい
と言われます。
つまづきませんから。

港の周囲を山で囲まれている長崎市は、造船業が盛んになるにつれ、人口増加によって山の上へ上へと住宅が増えて行きました。道路もまた、山の上へと伸びて行きました。しかしながら、多くの住宅が建つ斜面に新しい道路を作ることは難しく、今も乗用車がすれ違うのがやっとの、狭く、曲がりくねった道が日常。そんな道を大型の路線バスが当然のように行き交います。「長崎はバスの運転がうまい」と言われるのは、この道に鍛えられたおかげです。

狭隘路線バス

長崎で、会いましょう。

